



MITSUI & CO.

「ディスクロージャー優良企業」受賞に寄せて

三井物産株式会社 代表取締役専務執行役員CFO 松原圭吾

このたびは平成29年（第23回）ディスクロージャー優良企業（商社部門）に選定頂き大変光栄に存じます。ひとえに日頃の投資家、証券アナリスト、関係各位のご支援の賜物と、改めまして深く御礼申し上げます。

当社は、昨年5月に3年間の新中期経営計画（中経）「Driving Value Creation」を発表致しました。本中経の策定に当たって先ず行ったことは、投資家やアナリストの方々を始めとする市場が当社に何を求めているのかを事前に良くお聞きすることであり、頂いた御意見を踏まえて当社が目指すもののできるだけ分かり易くお伝えすることに注力致しました。

本中経において当社が目指すあり姿は「多様なプロ人材が、三井物産グループの総合力とネットワークを駆使し、主体的な事業創出に取り組み、新たな価値を持続的に創造する」であり、その実現の為に、当社収益基盤を支える3つの中核分野の徹底強化を打ち出すと共に、次の収益の柱とすべき成長分野を4つに絞り込んで特定しました。また、安定的に創出可能な基礎営業キャッシュフローに基づく下限配当の新設や、株主還元後のフリーキャッシュフロー黒字化を軸とするキャッシュ・フローアロケーションの考え方を明示しております。

幅広い事情領域に様々な事業形態を通じて関与する総合商社は、外部からその実態が分かり難いとされることもありますが、当社の現状と今後目

指すものを市場に御理解頂けるよう、常に透明性の高い情報開示を心掛けると共に、アニュアルレポートや決算説明会資料等のIRツールは、できるだけシンプルで分かり易くするよう心掛けております。

また、当社の価値創造の取組みや具体的な成果についても、できるだけ丁寧に市場との対話を深めて行きたいと考えており、その一環として、当社では中経公表後の昨年6月に初めてのインベスターデイを開催致しました。当日は、証券アナリスト・機関投資家・マスメディアを含め150名超の方々にお集まり頂き、社長以下経営幹部のメッセージに加え、営業本部長12名のプレゼンテーションや質疑応答を実施することで、より臨場感をもって当社戦略をご理解頂いたものと思います。また、現在当社株式は約32万人の個人株主に保有頂いていますが、経営幹部によるビデオを交えた個人投資家説明会なども実施しており、これらの取組みは今後も継続して行く予定です。

IRのミッションは、適時適切な情報開示による経営の透明性維持と市場の視点・意見を経営に反映させることによる企業価値向上であり、その為にも市場との双方向の対話が何よりも重要と考えています。今後も、対話のベースとなるディスクロージャーの充実と質の向上に努めて参りますので、引き続きご支援のほど宜しくお願い申し上げます。